

彦根市立城南小学校

た な べ と し ひ さ
田鍋 敏寿さん

Profile ※専攻名称は卒業当時。

滋賀県出身。2016年3月教育学部初等教育コース初等教科専攻英語専修※卒業。同年4月彦根市立城西小学校着任、2020年4月彦根市立城南小学校着任。新任時代から海外の交流先との交渉や英語の指導方法の策定に携わる。現在は教育DXに注力し、ITや教育関連の企業のアンバサダーなども務める。学生時代、共にバスケットボール部の活動に打ち込んだ親友と、同じ小学校で教員として机を並べている。

小学校の英語教育と教育DXのフロンティアになることが使命

先生の言葉をきっかけに 小学校教員の道へ

両親が小学校教員で、物心ついた時から先生になりたいと考えていました。中学時代の英語の先生の教え方がすばらしく、影響を受けたことから、滋賀大学に入学した後も、迷わず中学校の英語教員を志望。ところが、小学校教員を薦められました。私のパーソナリティが小学校教員に向いていること、加えて初等教科専攻英語専修新設のタイミングということで「1期生として大学の新たなコース、そして小学校の英語教育を切り拓いてほしい」と、現在は退任された岩上はる子先生からの言葉に喜びと誇りを感じて、小学校の教員に目標を変更しました。

在学中は実習授業と並行して、言語学の研究に取り組みました。英語を文法の理論から分析していくのですが、謎解きゲームのようで興味深かったです。小学校で英文法の指導はしませんが、卒業論文の発表会に向けて難解な理論をかみ砕き、誰もが理解できるよう説明する経験を積んだことが、授業を計画していくうえで役に立っています。



ICTを活用した授業と 教員同士での学びに注力

現在、力を入れていることはICTを活用した授業です。一例としては、英語で世界の国を紹介する動画を撮影し、SNSで発信しました。動画を見直すことで、子どもたちは撮影方法や英語表現を検討するなど積極的に取り組んでいます。私はICT教育を先導するマイクロソフト認定教育イノベーターとして活動していることもあり、海外の中学校とオンライン交流会も行いました。子どもたちにとってはリアルに英語を話す貴重な経験となり、ICTと外国語教育の親和性と効果の高さに手応えを感じています。

このほか、教員同士の交流の場づくりにも取り組んでいます。子どもの成長、笑顔は何物にも代えがたい喜びで「先生になってよかった」と実感します。だからこそ、もっと良い授業をつくらう、もっと働きや

すい環境を整えようという思いを抱く教員が集まり、議論や情報交換を行うことで、豊かな教育活動に還元できればと思います。

滋賀大への信頼を実感 今後もよりよい教育を

滋賀大学教育学部に入学してよかったと思います。学修や採用試験対策の手厚さ、実績の高さから「先生になるなら滋賀大学」とよく言われますが、教壇に立って改めてその評価と信頼を感じました。卒業生としては、教育学部の皆さんに実際の授業を見て、「先生の仕事は楽しそう」と思ってもらいたいですし、教員の交流の場づくりでは、今後は滋賀大学の卒業生とも連携して、教育現場を盛り上げていきたいです。また、生まれ育った滋賀県の教育レベルをさらに高めることも目標です。

